



講座のご案内

2022年1-2月号

お申し込み



このチラシを見た方どなたでも、講座へ参加ができます。

「発達障がい」ってなんだろう？ 子どもの発達障がいと薬について 医療の現場から



オンライン開催
(Zoomを使用)

2月17日(木) 午後3時~4時30分

参加費 1,000円 (事前に参考資料をお届けします)

近年、発達障がいといわれる子どもが増えているといえます。また、早く障がいに気づいて、早く治療を始めたほうがよいとも聞きます。小さい頃から発達障がいと診断され、薬を飲み続けることは大丈夫なのか、どんな薬が使われているのか、そもそも発達障がいと個性はどう違うのか…小児科医・児童精神神経科医として46年の臨床経験を持つ石川憲彦さんにお話を伺い一緒に考えましょう。

おはなし 石川憲彦さん

小児科医・児童精神神経科医

1975年から東京大学病院で小児科臨床、障害児医療に携わり、「障害児を普通学校へ」という運動に関わった。2004年東京都目黒区に林試の森クリニックを開業する。著書に『「精神障害」とはなんだろう?』(ジャパンマシニスト

太巻きまつり寿司〈桃の花〉にチャレンジ!

もうじき春!ちょっとした持ち寄りパーティや、お子さんのお節句祝いに、かわいらしい祭りずしを作ってみませんか? 季節感がぐっとアップしますよ。初めての人でも失敗しない作り方でひとり1本作り、持ち帰ります。【定員9名】

日時: 2月26日(土) 午前10時30分~12時30分

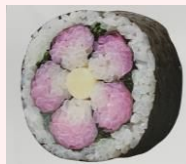
場所: 生活クラブ所沢生活館
(所沢市美原町3丁目2971-5)

参加費: 3,000円

持ち物: エプロン・三角巾・22cm幅のラップ、
持ち帰り容器(大きな太巻き1本入るもの)

講師: 弘光しのぶさん

志木支部組合員。太巻き寿司のおけいこに通い続けて27年。形が見えるときの楽しさを伝えたい。



百年杉ワークショップ ジャングルジムを作ろう!



「杉は人々を幸せにする木だ!」を信念とする講師と一緒に百年杉の木製ジャングルジムを組み立てます。手足に触れた心地よさを実感しながら、最新研究事例をもとに杉とヒトの関係を考えます。

【定員20名】

日時: 3月5日(土)
13時30分~15時30分

場所: 生活クラブ狭山生活館 3階大ホール
狭山市富士見1丁目11-15 TEL: 04-2958-8222
西武新宿線「狭山市」駅東口下車徒歩7分

参加費: 1,000円(お子さんは無料です)

持ち物: 2番ビット(普通サイズ)ドライバー

講師: 加藤政実さん

百年杉を専門的に取り扱う(有)加藤木材代表



- 1月11日(火) 14時~15時30分
- 2月8日(火) 14時~15時30分
- 3月7日(月) 14時~15時30分

出入り自由です(^^) /

つながる・話す
元気になる!

不定期開催、参加費無料、
ネット上で気軽におしゃべりを楽しみましょう♪



できる人から 脱プラスチック 生活!



安くて便利のために大量生産、大量消費されてきたプラスチックは、1950年から生産量が約200倍に増加。今後20年間でさらに2倍になると予想されているそうです。プラスチックは種類が多いう上に添加剤も多いので、リサイクルしにくくリサイクルする程劣化するため、水平リサイクルは難しいとされています。埋め立てや焼却するにしても有害物質の溶出や膨大な処理費用がかかり、近年大きな問題になっているマイクロプラスチックの発生など、「ツケ」が私たちの健康に及ぼす大きな問題として降りかかってきています。

生活の身近なところでマイクロビーズの一例を上げると、クッションやソファ、枕、ぬいぐるみなどに使用されています。また、意外なことに国内の河川で見つかるのが肥料カプセル、人口芝、ブルーシート、ロープなど。それらは劣化しマイクロプラスチックとなり河川から海洋へ流れ去っていきます。

また、香り成分や消臭成分等を包み込んだカプセルが、合成洗剤や柔軟剤や消臭剤に添加されています。衣類に付いたマイクロカプセルの壁がこすれて飛び散り、中の成分が大気中に放出され香りなどの効果が持続するしくみになっています。土にも雨にも雪にも水にも大気中にもプラスチックが検出され、また、水道水や合成繊維を使ったティッシュ、紙コップからもプラスチックが検出されているそうです。紙コップで毎日3杯、温かいお茶やコーヒーを飲む人は、一日に平均7万5000個のマイクロプラスチックを摂取しているそうです。研究では、新生児の胎便と乳児から、また人間の肺からもマイクロプラスチックが見つかっています。

「私たちにできること」として「脱プラスチック」のすすめを提言されました。ティーバツ

グ、ラップ、プラ袋、フッ素樹脂加工のフライパン、ウエットティッシュ、ウレタンスポンジ、メラミン樹脂のスポンジ、柔軟剤や芳香剤、消臭スプレー、殺虫剤などの化学物質などは使わない。できるだけ自然素材の衣類、寝具を選び、大事に使うということも重要。そして、消費者が店や企業、政治家に声を届ける、世論を気にする大企業にはオンライン署名も有効という事例も紹介いただきました。

みんなで減らそうプラスチック! を強く感じることができました。

(菊一記)



生活クラブ生協と共催の《食と環境カレッジ2021》第3回『暮らしの中のマイクロプラスチック問題』講師は栗岡理子さん(日本消費者連盟、環境カウンセラー)

被災地を忘れない! 1冊の本がつなぐ応援の輪



12月中旬、小雪の舞う今年一番の寒さのなか、陸前高田のまちの中心部でふくふく市が開かれていました。総菜やさんのプレオープンに合わせての開催とのことでした。大人の学校も寄付していただいた本を広げたいところでしたが、急なこともあり(寒いこともあり)かないませんでした。春が近づいてきたら参加させてもらいたいと思います。(山)



大人の学校 スタッフのつばやき

生活クラブ生協が組合員に配布している『生活と自治』12月号の安田菜津紀さんのエッセイを読んで、初めての海外旅行でハワイに行った時のことを思い出した。

ホノルル空港の出国手続きで記入台のそばに立っている人が記入内容を確認してくれていたのだが、その背の高い少し太めの人物が私たち家族の用紙を見て「〇〇って珍しい名字ですね」と、流暢な日本語で話しかけて来たのだ。日本でも初めて会う人から良く言われるワードだったが、まさかハワイで外国の人から言われるとはと、思わず笑ってしまった。もちろん世界的観光地だし、日本人が大勢訪れる場所という事もあるのだろうが、その時のほっこりした気持ちは今でも鮮明に覚えている。その人にとっては日常業務の一場面だったかもしれないけれど、思い返すたびに温かな気持ちになるかの国でのいい思い出だ。(はむたま)

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 **大人の学校**

〒333-0857 川口市大字小谷場 206
生活クラブ生協内

電話/ファックス 048-423-3313

メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp

お電話の場合は平日の10時~16時、それ以外の日時や不在の場合は留守電にご用件を録音してください。折り返しご連絡いたします。